



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2021年  
12月03日  
発行

第 114 回

「足元の日本株について」

## ～テーパリング加速は好材料～

### 初めに

日本株の不安定な動きが続いています。今回は日本株の見通しについて考えます。

### 日本株が弱い理由

日本株が弱い理由は3つあげられます。パウエルFRB議長のテーパリング加速発言、新型コロナウイルスオミクロン株への警戒感、MSCIの銘柄入れ替えに伴う日本株売り、です。以下順にコメントします。

### パウエル議長発言

パウエル議長は11月30日、テーパリングの加速を金融当局として検討すべきだと述べるとともに、高進が続くインフレ動向について一過性の表現を取り下げました。その発言を踏まえトレーダーは、利上げ開始の時期が早まりその後の引き上げのペースも加速するとの見方を強めています。

### オミクロン株

最近発見されたオミクロン株に対する警戒感も株価を不安定化させる要因です。オミクロン株の詳細ははっきりしませんが感染力が強いという見方があり、投資家を慎重にさせているようです。

### MSCIの銘柄入れ替え

MSCI指数は世界の資産運用会社が基準とすることが多い指数です。どの国の株を、またどの企業の株を、どれくらい保有するかなどを考える時の指針とされます。年に一度MSCIは指数の対象となる株の見直しを行います。今年の見直しでは世界全体の株式における日本株の比率が引き下げられました。そのため多くの運用会社が日本株を売却したと見られています。このMSCIの銘柄入れ替えも日本株が不安定な理由です。

### 今後の見通し

この3つの理由の中で最も重要なのは、テーパリングの加速を含むFRBのタカ派シフトです。これまで市場ではインフレを過小評価していた投資家が多かったと思います。そうした投資家にとってはかなりの悪材料でしょう。ただ少し長い視点で見るとむしろ好材料だと思います。一時的な痛みはあっても早期にインフレを鎮静化させる方が特策と見ているからです。オミクロン株については現時点では何とも言えません。リスクとして注意すべきでしょう。MSCIの銘柄入れ替えも日本株の不安定要因です。ただこれは一時的なものであり、今後影響はなくなると見えています。やはりポイントはFRBの今後の動きとなります。インフレ鎮静を重視してタカ派的なスタンスを強めるのであれば、それは株価にプラスとの見方です。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。